

C-1 指導案

1 単元名 水のかさをはかろう

2 本時の指導と評価の計画（第2次 第2時）

(1) 本時のねらい

かさを表す単位「デシリットル（dℓ）」について理解する。
 リットルとデシリットルの単位相互の関係がわかる。

(2) 準備・資料等 ペットボトル、1ℓと1dℓのます（目盛りにシールの貼ったものと貼らないもの）1ℓと1dℓのカラーボード10枚、トレー、水、米、タオル、雑巾

(3) 本時の展開

時間	学習内容	児童の学習活動	指導の手立て・支援	評価規準 【観点】（評価方法）
5	前時の復習をする。	・前時の内容を発表する。	・前時に使ったペットボトルや1ℓのますを触わり確認できるようにする。	既習の学習より他にも単位があることや、いくつに分けてあるかを予想しようとする。 【数学的な考え方】（発言）
5	本時の課題を知る。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> もう1つのペットボトルは、1ℓとどれだけ入っているのかな？ </div>		
10	デシリットルという単位を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・目盛りのない1ℓのますに移し変える。 ・1ℓより少ない水のかさの表し方を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長さや時間の学習を思い出させる。 ・思い出せない場合は、長さの学習につかった教材を提示する。 	
10	1ℓのますに10dℓ入ることを確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・dℓという単位を知り、書き方がわかる。 ・1dℓの何倍で1ℓかを予想する。 ・1ℓのますの目盛りを数える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・dℓと点字で書いたものを提示する。 ・カラーボードでも、1ℓを10に分けたことを確認させる。 	
7	ペットボトルの水の量をはかる。	・目盛り付きの1ℓのますに移しかえ目盛りを読む。	<ul style="list-style-type: none"> ・1dℓと書いた点字を読ませる。 ・1dℓのカラーボードも積み上げイメージを持たせる。 ・水では高さが確認しにくい場合は、お米を用いる。 	
8	本時のまとめをする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 1ℓと8dℓ入っていたよ。 </div>	・dℓの書き方を確認する。	
		・わかった内容を発表してからノートにまとめる。		